

平成31年4月から電池の出し方が一部変わります

最近、携帯充電器やスマートフォン、電子たばこ、ノートパソコンなどに使用されているリチウム電池を充電中や使用中などに発火する火災が増えています。

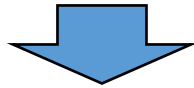
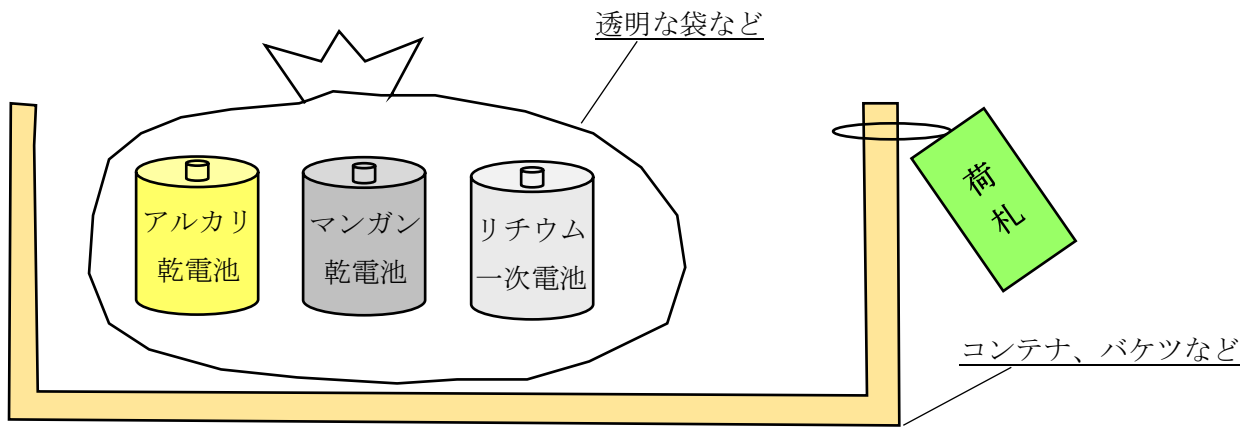
○なぜリチウム電池は発火しやすいのか

リチウム電池には、可燃性の有機溶媒が使用されているため、強い衝撃などでも発火します。

○電池の出し方

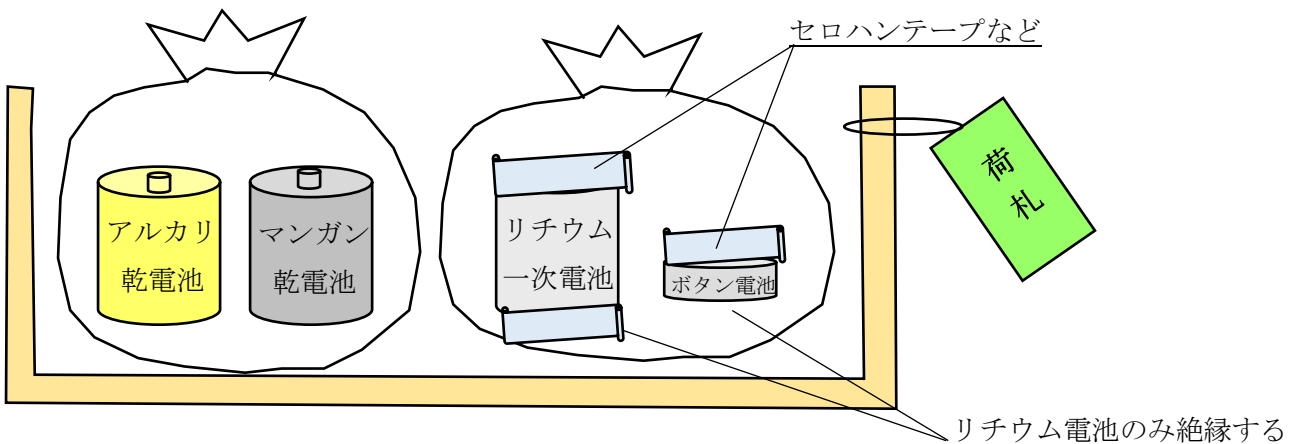
●平成31年3月31日まで

電池（アルカリ電池、マンガン電池、リチウム電池）はすべて透明な袋1つにまとめて荷札を付けたコンテナ、バケツなどに入れて出す。



●平成31年4月1日から

電池をアルカリ電池、マンガン電池で透明な袋1つ、リチウム電池で透明な袋1つに分別して、荷札を付けたコンテナ、バケツなどに入れて出す。また、リチウム電池のみセロハンテープなどで絶縁をする。

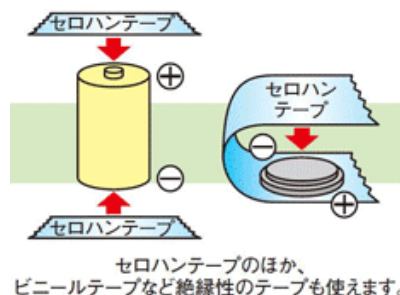


※リチウム電池の絶縁の方法

詳しくは下記リンク先をご覧ください。

【一般社団法人電池工業会】

<http://www.bai.or.jp/recycle/recycle01.html>



(引用：一般社団法人電池工業会)